

<保護者様用>

板橋区医師会・5歳児発達診療ガイドラインに基づく診療

5歳児発達診療受診を希望される保護者の方へ

<目的>

5歳児発達診療ガイドラインに基づく5歳児の診療（東京方式-準拠（以後5歳児診療とする））は就学期を迎えるにあたり、5歳児の心身の成長発達を診査することで、必要な準備を始める契機になることを目的とします。

<方法>

診療の流れの表をご参照ください。

5歳児の力

（鳥取大学附属小学校校長 小枝達也先生著）

まだまだ自分の腕の中にいると思っていたわが子が、次第に自分の世界を持ち始める。それが5歳です。

食事動作だけでなく、衣服の着脱や排泄なども自立し、自分のことは自分ですするという力が身についてきます。遊びも集団遊びが中心となり、協力して遊ぶ、ルールのある遊びの魅力を知る、といった時期でもあります。そして「あしたも遊ぼうね」と相手に対する配慮を示してくれるようにもなってきます。

単に会話が成り立つだけでなく、自分の考えを主張し、気持ちを表現するようになります。昨日、今日、明日などの時間感覚を持ち、簡単な因果関係を理解するようになります。少し前のことなら振り返ることもできるようになりますし、これから始まることの見通しも持てるようになります。今はできないけど、続けていると上達するという見通しの力がついてくるとかんしゃくが減ってきます。

運動のバランス感覚は上達し、ブランコをこいだり、ボールをキャッチすることができるようになります。折り紙を折る、ダンボールでロボットを作ることも覚え、複数の人が登場する絵を描くようになります。

親としてはどこまで子どもに任せたらいいのか、どこまで手伝って、どこからは自分でするように仕向けたらいいのか、子育ての手加減に迷う時期でもあります。手伝ってしまうのでもなく、自分でしなさいと突き放すのでもなく、教示を与えてできるまで根気よく見守るという態度が求められる年齢、それが5歳と言えるでしょう。

5歳児発達診療の流れ

板橋区医師会

5歳児診療を幼稚園・保育園・実施医療機関で知る

未就園の希望者は5歳児診療を実施医療機関へ申し入れる。

- ・実施医療機関から診療用紙をもらう
または板橋区医師会 Web サイトからダウンロードする
- ・診察日を予約する

保育園・幼稚園・実施医療機関へ5歳児診療の受診希望を申し出る。

- ・保育園・幼稚園・実施医療機関から診療用紙をもらう
- ・診察日を予約する

診療用紙内容

- ・診療の説明書と流れ・・・2枚
- ・生活習慣チェック表・・・1枚
- ・「子どもの強さと困難さアンケート(SDQ)」1枚

保護者の方が問診表を記入
① 生活習慣チェック表
② SDQ表

すべてのチェック表が揃ったら実施機関へ予約した日時に受診する

実施機関で診療を受ける

持参する物

- ・保険証並びに医療証
- ・母子手帳
- ・生活習慣チェック表 (記入済み)
- ・SDQ表 (記入済み)